



AWS Academyはアマゾン ウェブ サービス（以下AWS）が高等教育機関向けに提供するクラウドスキル習得のためのカリキュラムパッケージです。日本でもすでに100を超える高等教育機関がクラウドの教育、クラウドによる教育のためにAWS Academyを活用しています。加盟校の教員はクラウド教育を自身で行うためのワークショップ（講師トレーニング）に参加でき、以下のリソースを自身が行う授業の受講者に提供できます。



コースモジュール※1 AWS演習環境※2

知識確認テスト

プロジェクト形式の演習

教科書と講義動画を
活用して授業を行えます

実際に AWS コンソールを
使ってハンズオンラボ演習
ができます

章ごとに複数選択形式の
小テストがあり、学生の
理解度確認に活用できます

細かい手順のない
プロジェクト演習を通し、
AWS のソリューションを
開発、実行できます

※1）以下のコースモジュールが日本語で提供されています。

【初級/20時間程度の授業内容に相当】

- **AWS Academy Cloud Foundations**
AWS クラウドの概要、Web 3層アーキテクチャの構築
- **AWS Academy Security Foundations**
AWS のセキュリティの考え方、実装の基礎

- **AWS Academy ML Foundations**
学生に AI と機械学習の概念を教える

【中級/20時間または40時間程度の授業内容に相当】

- **AWS Academy Cloud Architecting**（40時間）
AWS クラウドの使用の最適化に特化
- **AWS Academy Cloud Developing**（40時間）
学生がクラウド技術を活用した開発に関する専門知識を身に付けられるようサポート

※2）AWS演習環境 Learner Lab

Learner Labは学生が実際にAWSの管理コンソールを使って授業で身に付けた知識を実践するための演習環境です。以下の特長があります。

- 教員から招待された学生だけが利用できます。
- 一つの招待につき学生は50ドルぶんのAWSサービス（100程度のサービスに限定）が演習環境として利用できます。
- その他の制限として、例えばEC2（仮想サーバのサービス）のインスタンスの連続起動時間は4時間に制限されていたり、利用できるリージョンやサービスに制限があります。
- 課金が発生することではなく50ドルを使い切るとアカウントは停止します。

AWS Academyが適応できるケース

- 学生にクラウドの基本的なスキルを習得させる授業を行いたい
- 演習を含む授業やゼミで簡単なクラウドサービスを学生に使わせてみたい
- クラウドの基本を学べる教材を自身の授業の中で使いたい

AWS AcademyのWebサイトはこちらのQRコードより →
<https://aws.amazon.com/jp/training/awsacademy/>



お問い合わせ先: awsacademy-japan@amazon.com

アマゾン ウェブ サービスジャパン合同会社 トレーニングサービス本部 AWS Academy 担当まで